



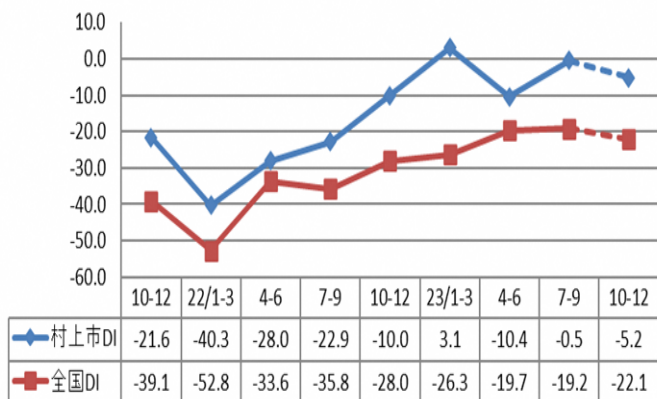
# 村上市 景況調査報告

〈令和5年7-9月期の実績・令和5年10-12月期の見通し〉

『持ち直しの動きがみられるが、人手不足・物価高騰の影響大』

## ■村上市の業況(全業種計)

### 業況判断DIの推移(全業種計)



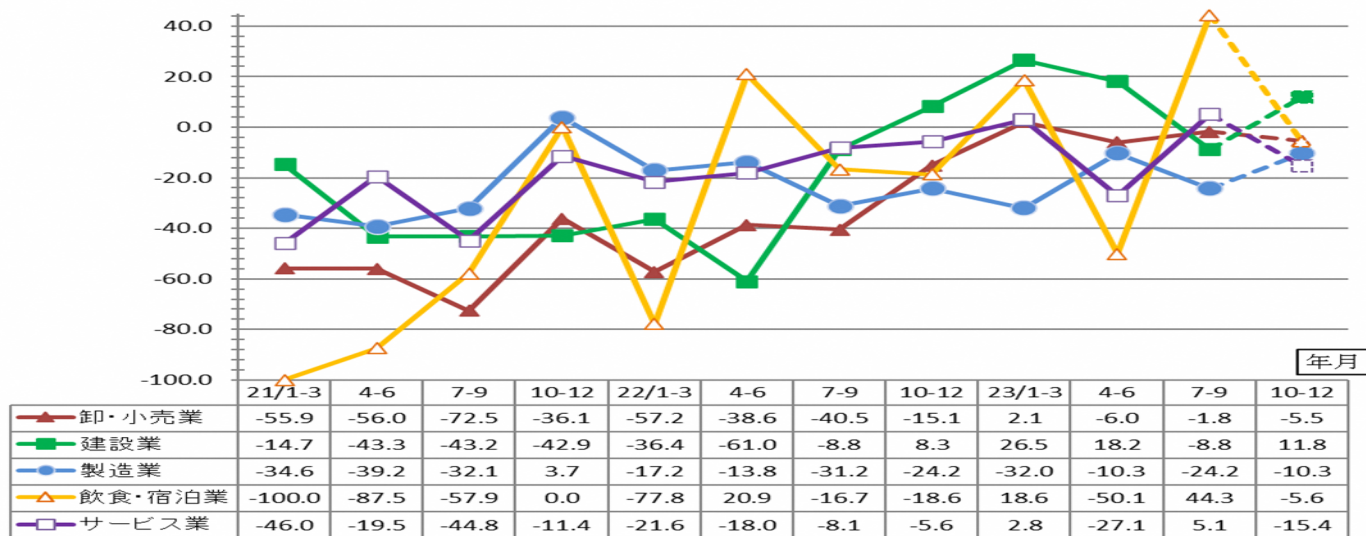
今期(7-9月期)の業況判断DI(全業種計)は、前期(4-6月期)と比べ9.9ポイント上昇し▲0.5となった。前期における今期予測(▲2.4)より1.9ポイント上昇し、前年同月比では22.4ポイント上昇した。全国DIは0.5ポイント上昇し▲19.2となった。

来期(10-12月期)については、4.7ポイント低下し▲5.2となる見通し。全国DIは2.9ポイント低下し▲22.1となる見通し。

コロナ感染症が5類に緩和されたこともあり、当市DIは大幅に改善しているが、物価高騰の影響は大きい。『経営上の問題点』の設問では前期に続き『求人難』がトップになり全業種において人手不足が伺える。

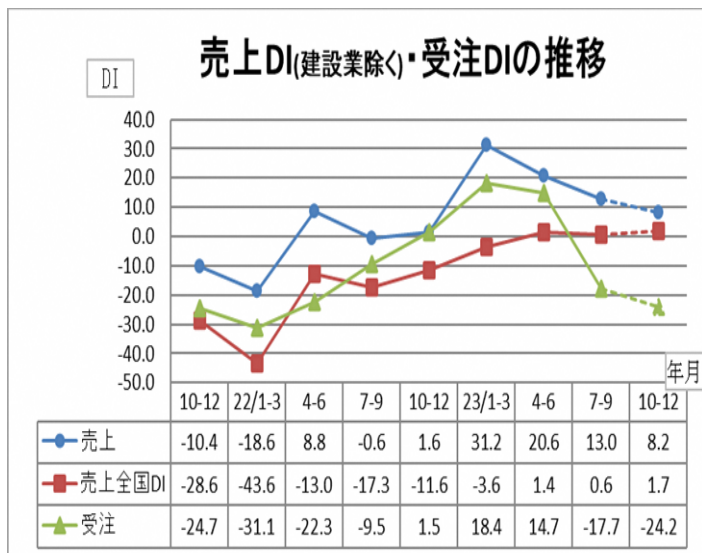
見通しとしては、プレミアム商品券に期待されるものの、当市DIは減少見込み。

### 業況判断DIの推移(業種別)



## ■各業種の動向

卸・小売業	建設業	製造業	飲食・宿泊業	サービス業
<p>コロナ感染症が5類に移行後、人の動きが活発になってきており、各地でもお祭りや集落での行事が行われ売上は良好だったとのコメントが多いが、猛暑により人出が鈍くなり苦戦したとのコメントも多い。猛暑に関連してエアコン販売は好調だった。</p> <p>見通しとしては、引き続き物価高騰による消費者の節約志向は今後も続くこと予想されているが、村上市プレミアム商品券に期待されている。</p>	<p>まだまだ災害復旧工事が多いという企業と、受注減少で引き続き厳しいという企業の両極端に分かれる。業況DIの減少要因として、猛暑により従業員の体調管理のため休憩時間増対策、技術職員不足により応札困難、採算性悪化などが挙げられている。良好な要因では、単価をアップさせ取引先にも理解を得ているとのコメントもある。</p> <p>見通しとしては、引き続き同じ状況が続くと予想が多い。</p>	<p>航空機関連製造業は回復傾向だがコロナ禍での退職者を補う人材確保ができず仕事をこなせているとの声もある。菓子製造では出荷量は増えているがコスト増で利益増にならない。製材、プラスチック・電子部品・瓦・食品製造では受注減少。</p> <p>見通しとしては、引き続き厳しい見方が多いが、グラフでは上昇を示している。</p>	<p>グラフを見て分かる通り、大きく右肩上がり改善しており良好なコメントが多い。宿泊業で良好な要因として工事による長期滞在者、コロナ緩和後初の夏休み・海水浴・行楽などが挙げられている。逆に悪かったと回答した飲食店のコメントでは、冠婚葬祭の少人数化による来客人数の減少、度重なる原価高騰などがある。</p> <p>見通しとしては、秋の行楽旅行、プレミアム商品券に期待が寄せられている。</p>	<p>コロナの要件緩和により旅行業は良好。染色業は祭礼回復により年内受注は良好。運送業では新規顧客獲得により良好。理容業では物価高騰により顧客の理容代節約傾向がある。</p> <p>見通しとしては、タクシー業ではコロナ・インフルのダブル流行での悪化が懸念されておりDI値は減少しているが、観光関連・測量業では繁忙期になるので良好なコメントもある。</p>



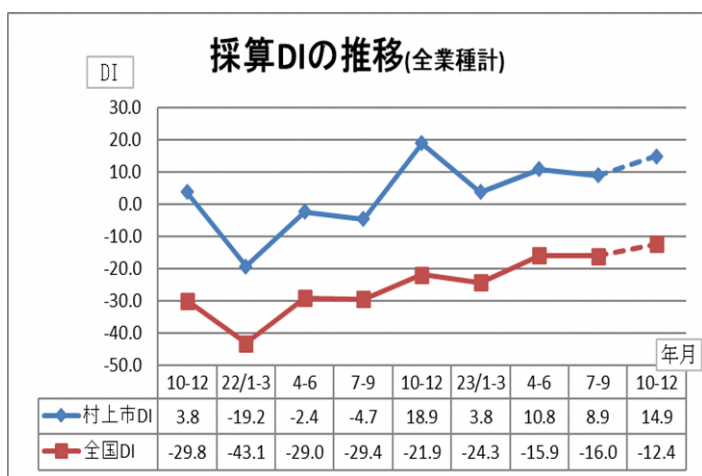
今期の売上DI(建設業除く)は、前期と比べ、7.6%低下し13.0となった。前期における今期予測(12.2)より0.8%上昇し、前年同月比では13.6%上昇した。全国DIは0.8%低下し0.6となった。

来期については、4.8%低下し8.2となる見通し。全国DIは1.1%上昇し1.7となる見通し。

今期の受注DI(建設・製造業)は、前期と比べ、32.4%低下し▲17.7となった。前期における今期予測(9.8)より27.5%低下し、前年同月比では8.2%低下した。

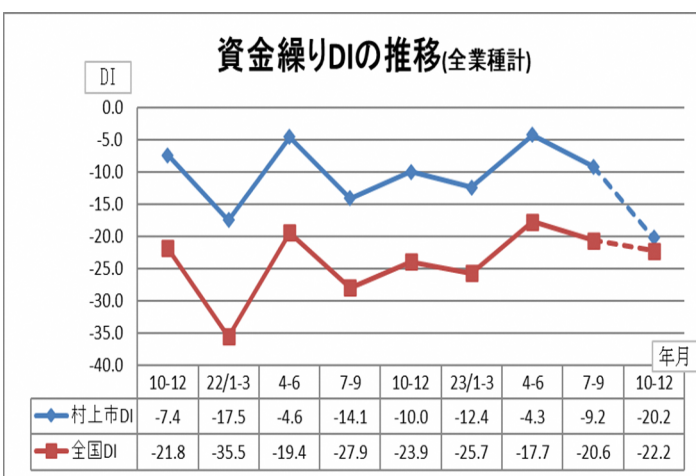
来期については、6.5%低下し▲24.2となる見通し。

【受注DIの内訳】	前期	今期	来期
・建設業	30.3	-20.6	-22.5
・製造業	-3.5	-14.3	-25.0



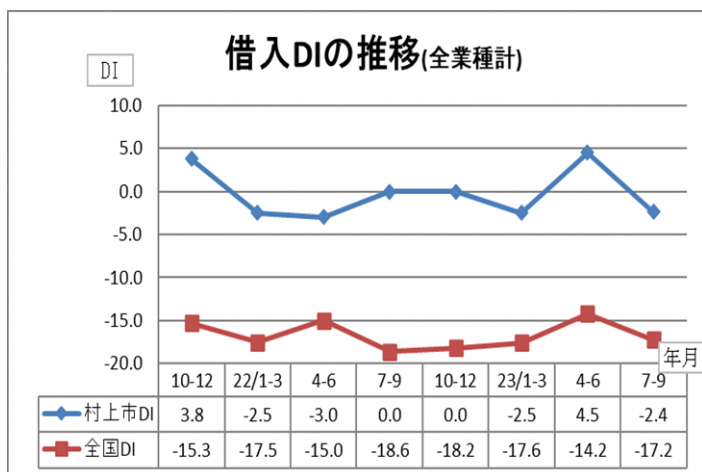
今期の採算DI(全業種計)は、前期と比べ、1.9%低下し8.9となった。前期における今期予測(10.1)より1.2%低下し、前年同月比では13.6%上昇した。全国DIは0.1%低下し▲16.0となった。

来期については、6.0%上昇し14.9となる見通し。全国DIは3.6%上昇し▲12.4となる見通し。



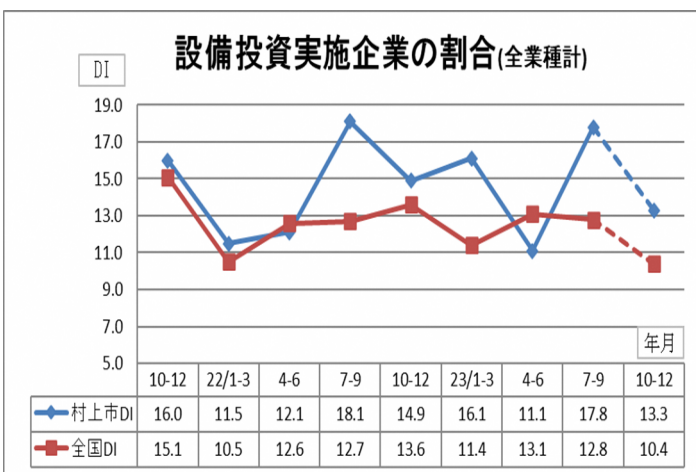
今期の資金繰りDI(全業種計)は、前期と比べ、4.9%低下し▲9.2となった。前期における今期予測(▲9.3)より0.1%上昇し、前年同月比では4.9%上昇した。全国DIは2.9%低下し▲20.6となった。

来期については、11.0%低下し▲20.2となる見通し。全国DIは1.6%低下し▲22.2となる見通し。



今期の借入DI(全業種計)は、前期と比べ、6.9%低下し▲2.4となった。全国DIは3.0%低下し▲17.2となった。

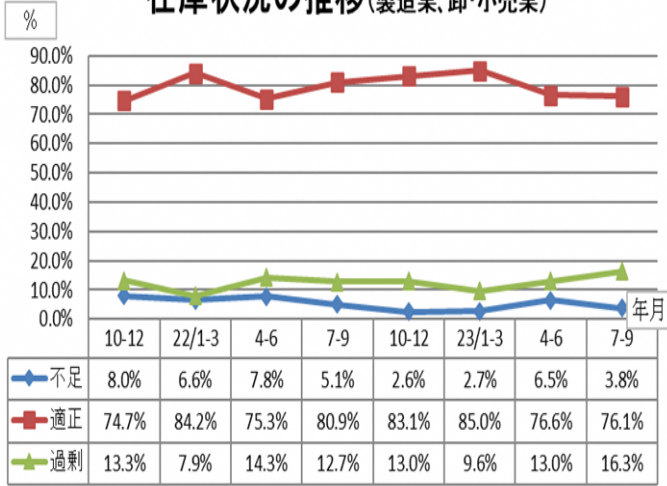
【借入DIの内訳】	前期	今期
・容易になった	5.1%	→ 2.3%
・変わらない	34.8%	→ 38.6%
・難しくなった	0.6%	→ 4.1%



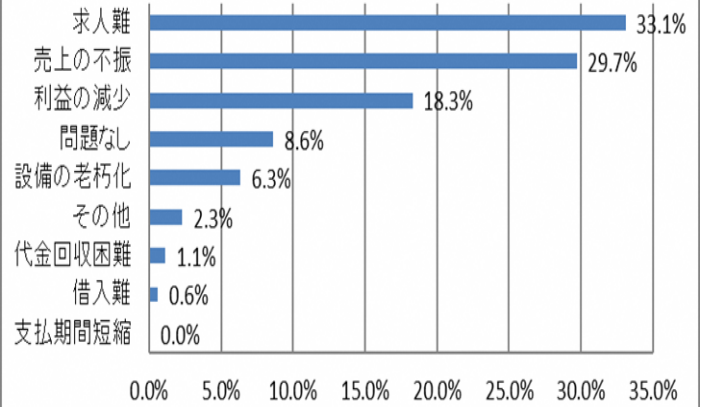
今期の設備投資実施企業の割合(全業種計)は、前期と比べ、6.7%上昇し17.8となった。前期における今期予測(13.0)より4.8%上昇し、前年同月比では0.3%低下した。全国DIは0.3%低下し12.8となった。

来期については、4.5%低下し13.3となる見通し。全国DIは2.4%低下し10.4となる見通し。

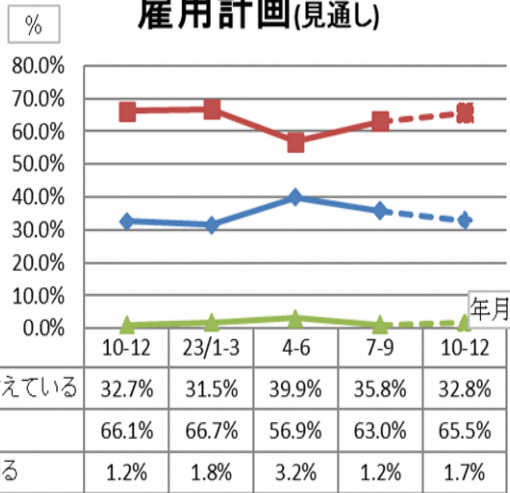
### 在庫状況の推移(製造業、卸・小売業)



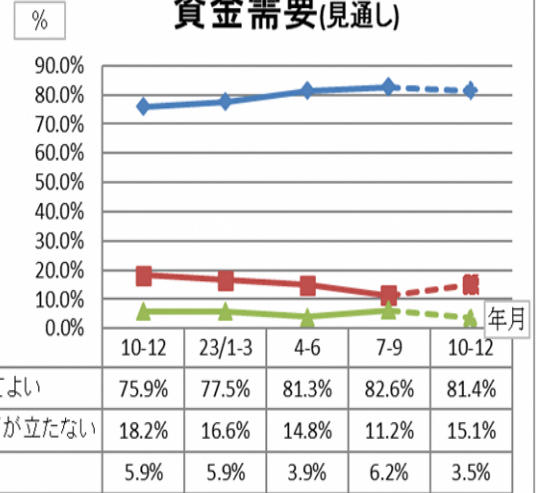
### 経営上の問題点



### 雇用計画(見通し)



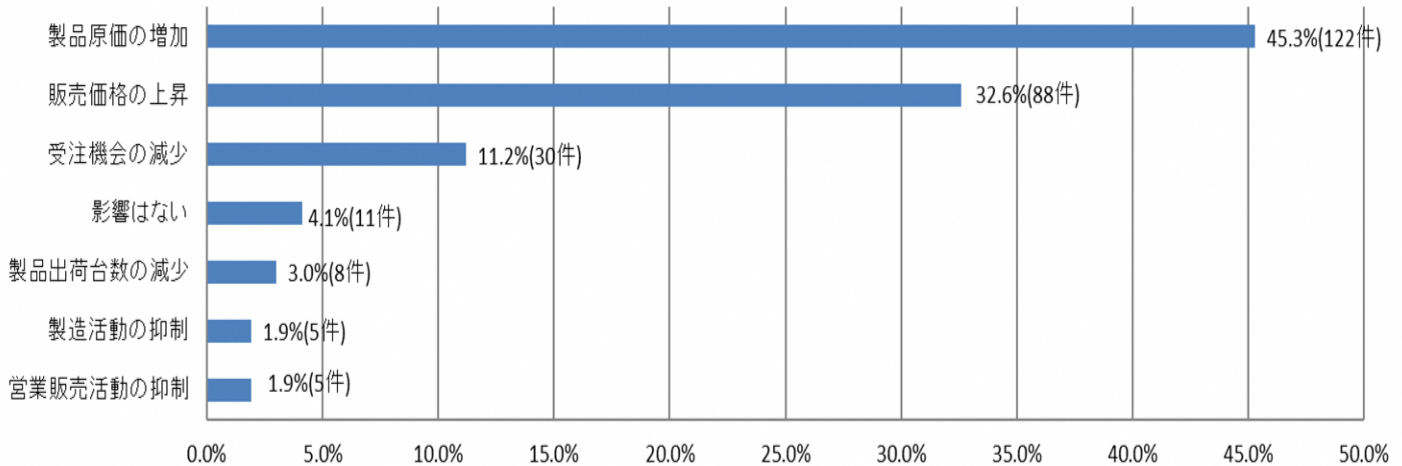
### 資金需要(見通し)



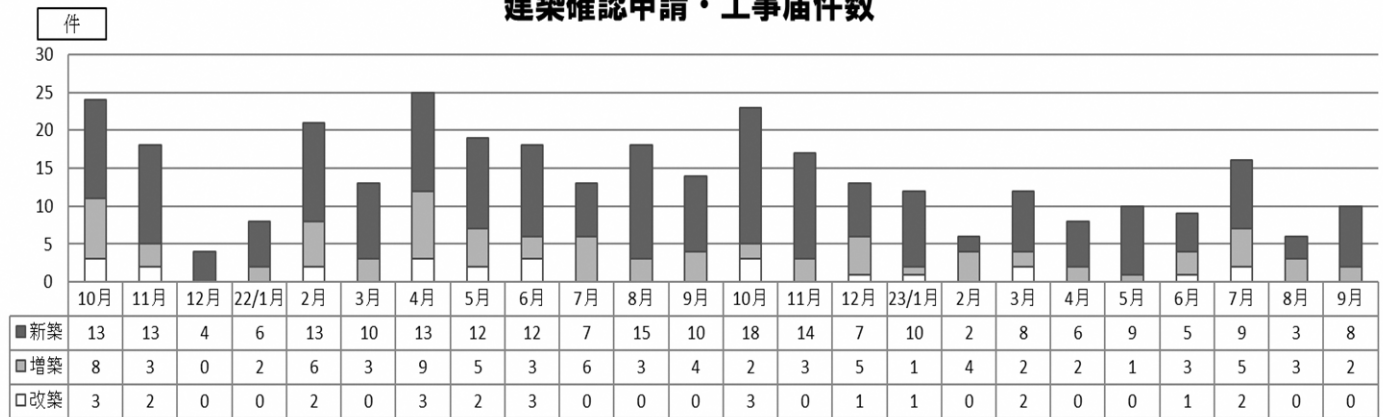
### ■原材料の高騰による事業への影響について

原材料の高騰による事業への影響について、教えてください。(複数選択可)

### 原材料の高騰による事業への影響について

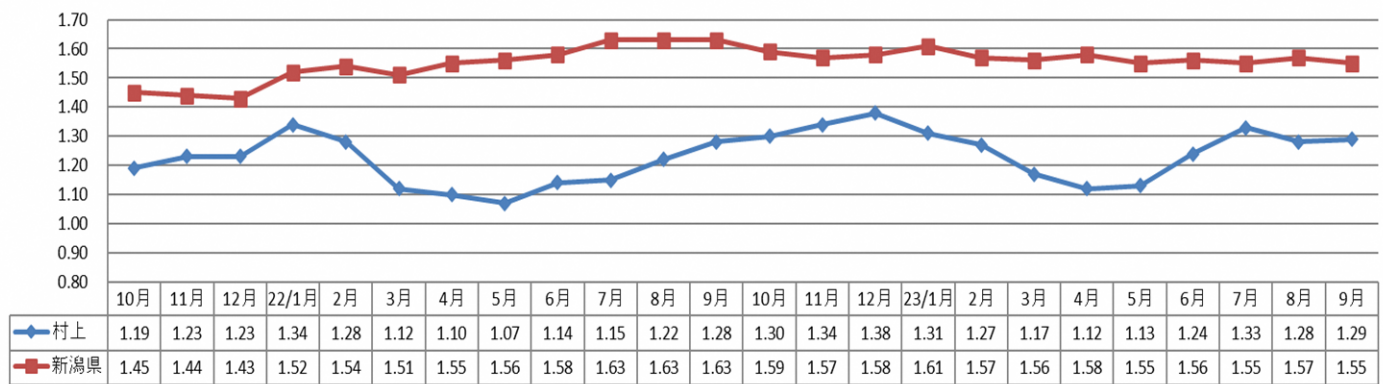


### 建築確認申請・工事届件数



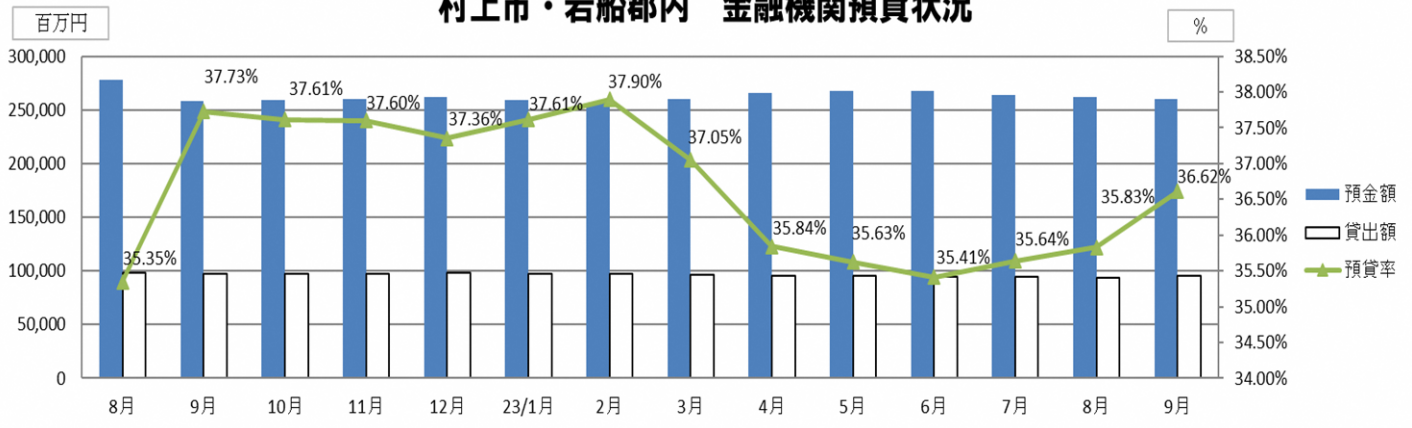
※本データは、新築・増築・改築の申請があった建築確認申請(民間受付含む)と工事届の合算となります。

### 村上職安管内 有効求人倍率(パートを含む全数)



※上記有効求人倍率は、季節調整値再計算により改訂した数値を記載しています。

### 村上市・岩船郡内 金融機関預貸状況



### 調査概要

調査時期	2023年9月中旬～2023年10月上旬
調査対象	村上市内事業所200社 有効回答数:176社(回収率88.0%) [業種] 卸売・小売業62社、建設業41社、製造業30社、飲食・宿泊業21社、サービス業46社 [地区] 村上地区104社、荒川地区33社、神林地区21社、朝日地区19社、山北地区23社
実施機関	村上市地域経済振興課、村上商工会議所、荒川商工会、神林商工会、朝日商工会、山北商工会
分析機関	村上商工会議所
参考資料	全国中小企業動向調査結果(小企業編)／日本政策金融公庫 (全国DI) <2023.7-9実績・2023.10-12見通し>

DI値(景況判断指数)=[増加・好転などの回答割合]-[減少・悪化などの回答割合]

(※売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味する)